

## <日南町・日南町地域包括支援センター様>

上映日：2021/10/30（土） 場所：日南町総合文化センター さつきホール（鳥取県日野郡日南町）



### 企画・運営を関係機関の多職種と一緒に取り組め、今後の連携がスムーズに

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

日南町認知症施策作業部会（日南福祉会、日南病院、日南町地域包括支援センターで構成）では、認知症への理解を広げ、認知症になっても安心なまちを目指して取り組んでいます。

毎年、シンポジウムや映画上映等を通して、認知症についての啓発に努めています。

作業部会委員での試写会を経て、映画上映とミニ講話（町内特養・グループホーム・訪問看護の取り組み紹介・もしもの時のしあわせノート活用の勧め）を組み合わせて開催することとなりました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

（社）日南福祉会から居宅ケアマネ、ホームヘルパー、デイサービス相談員、グループホーム職員、国民健康保険日南病院から医師2名、居宅ケアマネ、PT、OT、薬剤師、一般病棟看護師、療養病棟ケアマネ、療養病棟看護師、外来看護師、役場福祉保健課（地域包括支援センター）からセンター長、保健師、認知症地域支援推進員です。

●資金はどのように捻出しましたか？

町役場の予算に計上しました。

●地域へどのように告知をしましたか？

町広報誌とともにチラシを全戸配布、町CATVで約1ヵ月広報、防災無線で周知、地域の体操のつどいでチラシによる周知（51ヵ所）が特に効果が感じられました。他にも、役場、病院、スーパー、町内地域振興センター（7ヵ所）にポスターチラシ配布、民生児童委員会でチラシ配布を行いました。

●上映会当日にいただいた感想を教えてください。

・「認知症になっても何もわからなくなるわけではなく、感情や思いは失われない」ことが理解できた。

・「その人の思い」に寄り添う支援が大切であるとわかった。

・自分のかかわりへの反省、若い人にも見てほしい。

・あわせて行った町内事業所の取り組み紹介により、理解が深まった。

・あわせて行ったミニ講話により、「もしもの時のしあわせノート」（町作成自分史・エンディングノート）を書いてみようと思った。等です。

●上映会開催の感想を教えてください。

関係機関の多職種が企画・運営等と一緒に取り組めたことは、一体感があり、今後の連携がよりスムーズに行えそうだと感じました。

また、町内事業所の取り組みを紹介する場ともなりよかったです。

参加者からは、啓発のための上映会やシンポジウムは続けてほしい、もっと多くの人に見てほしいとの意見がありました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

映画と合わせて、何を伝え一緒に考えようとするかの企画が大切と感じました。